

2016 年度 事業報告書

(2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

一	学校法人の概要
---	---------

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。また、2015年度、大幅なカリキュラムの改変を行い、入学直後の半年間を自分の将来の目標を見つけるための期間とする気づきの教育(本学独自の初年次教育)を導入。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010年度からの中長期計画である「RYUKAプラン21」において実施中の内容を包含した上で、第一次計画(2012～2014年度)を策定・実施。その後、第二次計画策定・実施。2016年度に、第二次計画をベースに、教育改革を中心とした第三次計画(2017～2019年度)を策定。流通科学大学学大学オンリーワンの教育”を推進する。

②沿革

1979(昭和54)年	5月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和59)年	3月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和60)年	6月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和61)年	1月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和62)年	12月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和63)年	1月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和63)年	4月	流通科学大学 商学部(流通学科/経営学科)開設
1991(平成3)年	12月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成4)年	4月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1993(平成5)年	12月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設認可
1994(平成6)年	4月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1995(平成7)年	12月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成8)年	4月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成9)年	9月	中内記念館(10周年記念事業)竣工
1997(平成9)年	12月	大学院(流通科学研究科 博士課程)設置認可
1998(平成10)年	4月	大学院(流通科学研究科 博士課程)開設
2001(平成13)年	4月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設
2004(平成16)年	5月	大阪オフィス開設(大阪駅前第4ビル19階)
2005(平成17)年	3月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成18)年	4月	アスレチック棟(20周年記念事業)竣工
2006(平成18)年	9月	中内功記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成18)年	9月	流通資料館開設
2007(平成19)年	7月	講義棟6(20周年記念事業)竣工
2008(平成20)年	8月	第二クラブハウス竣工
2009(平成21)年	10月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成22)年	4月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成22)年	6月	中内功記念館リニューアル
2011(平成23)年	1月	大阪オフィス移転(ハービス OSAKA オフィスタワー8階)
2011(平成23)年	4月	商学部(商学科)開設
		※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組
		総合政策学部(総合政策学科)開設
		※情報学部 経済情報学科、経営情報学科を改組
		サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント学科)開設
		※サービス産業学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組
		リテール科学研究所設立

2011(平成 23)年	9 月	キャッシュレジスター博物館開設
2012(平成 24)年	2 月	第三クラブハウス竣工
2015(平成 27)年	4 月	商学部(経営学科／マーケティング学科)開設、 経済学部(経済学科／経済情報学科)開設、 人間社会学部(人間社会学科／観光学科／人間健康学科)開設
2015(平成 27)年	9 月	流通資料館改め、ダイエー資料館開設
2016(平成 28)年	3 月	大阪オフィス閉鎖
2016(平成 28)年	3 月	商学部流通学科及びファイナンス学科廃止
2017(平成 29)年	3 月	人工芝リニューアル

③設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:中内潤

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

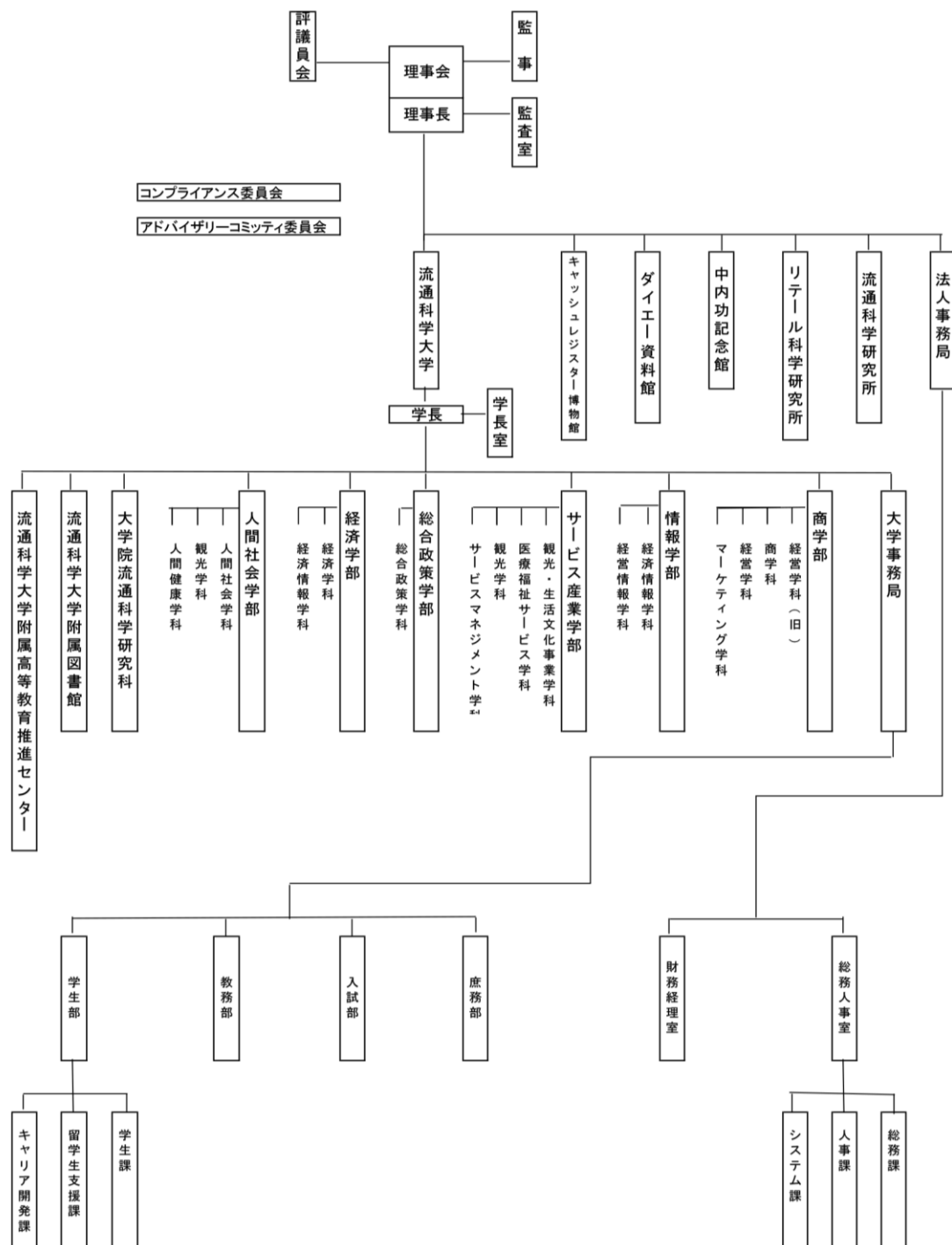
学 長:中内潤

④役員及び教職員に関する情報

(2016.5.1 現在)

理 事	11 名	(うち学内理事)	7 名	(うち学外理事)	4 名		
監 事	2 名						
評議員	28 名						
教 員	112 名	(うち教授)	66 名	(うち准教授)	38 名	(うち講師)	8 名
		平均年齢(教授)	57 歳	平均年齢(准教授)	45 歳	平均年齢(講師)	40 歳
職 員	160 名	(うち正職員)	51 名				

⑤学校法人の組織図(2016.4)



⑥法人が関連する会社

- 1.会社名 流科サービス株式会社
- 2.事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、情報システム管理、自動販売機の管理、袴レンタル等
- 3.資本金 50,000 千円(中内学園 100%出資)
- 4.従業員数等 取締役 3 名、従業員 4 名
- 5.営業状況 営業収益 95,482 千円、経常利益 5,170 千円(2017 年 2 月期)

なお、コンビニエンスストアは売上高ではなく、FC 契約に基づくオーナー収入を営業収益として算出

二	事業の概要
---	-------

(1)2016 年度事業報告

<学生募集>

1. 入試結果

- ・志願者数 2,312 名 (前年度比 116%)
- ・入学者数 960 名 (前年度比 108%)
- ・オープンキャンパス来場者数約 3,375 名 (前年度比 116%)

2. 受験生へのアプローチ

- ・「高校生のハイスクールライフ(恋愛含む)」をベースにマーケットイン、ターゲティング、ポジショニング、ブランド、競争から協創への 5 つのマーケティングキーワードをテーマにした全五話のマーケティング漫画を制作。

3. 高校との関係づくり

- ・協定締結校:10 校
明石商業高等学校、兵庫商業高校、神港橘高等学校、市立神港高等学校、神戸商業高等学校、姫路商業高等学校、兵庫県播磨高等学校、相生産業高等学校、神戸星城高等学校、岡山東商業高等学校

<中退予防>

1. 低単位取得者フォロー

- ・退学・除籍者数 217 名
学修支援ガイダンス、学生・保護者との面談を定期的を実施
学修相談会において、低単位取得者に限らず、申込制で実施。ゼミ教員と学生・保護者との面談を実施
低単位取得者割合 2 年生 31.0%/3 年生 24.3%(2015 年度終了時点 2 年生 34.9%/3 年生 28.2%)

2. 生活習慣の改善

- ・レストラン 100 円朝食の実施
＜平均食数＞
前期:78 食 後期:75 食。
＜1 日 100 食を超えた日＞
前期:19 回 後期:12 回
1 日の最大食数:119 食

3. 学生の学内滞留時間アップ

- ・図書館、自習室、5 棟アカデミックサロン、保健室、教職実践演習室、心理学ルームのリニューアルを実施。

<なりたい自分に近づくための学生生活モデル(履修モデル等)構築>

1. 進路別学生生活モデル(履修モデル含む)の作成

- ・19 モデル作成
- ・特設サイト作成(大学ホームページ)
現在 3 業種掲載中(事業承継/公務員/ブライダル業(ウェディングプランナー))

2. なりたい自分発見カリキュラムの改善

- ・1 年次前期終了時、将来の目標が明確になった学生の割合 72.0%
- ・夏季休業中の海外研修(異文化理解)の実施。参加者数:35 名(前年度:15 名)
- ・なりたい自分を発見する為の転学部・転学科面談の実施。
申込件数:2017 年度転学部 22 名/転学科 15 名(2016 年度転学部 13 名/転学科 6 名)

3. オンリーワン教育プログラム

(地域人材育成プログラム)

- ・プログラム登録生 15 名
地域創生をテーマに活動をするミュージシャン「にこいち」への密着取材を通じ、地域創生がなぜ必要であるか、その方法等を学ぶ。

(事業承継者育成プログラム／起業家育成プログラム)

- ・プログラム登録生 10 名

起業家育成プログラムについては 2016 年度後期より開始したプログラムであり、2017 年度から事業承継者育成プログラムと合同で行うこととなった。また 2017 年度に学内にてプログラム生が実際の起業する事も含めて進行中。

<学生生活>

1. クラブ加入率 60%(2015 年度 43.9%)に向けた施策

- ・初年次全クラスが参加し、昨年度より加入率は向上し 47.1%であった。

(参考)

全学年課外活動加入率 56.8%

1 年生クラブ加入率 58.4%

1 年生課外活動加入率 69.8%

2. 留学生向けイベントの開催

- ・RYUKA 留学生クラブには 81 名が入部(1 年生 122 名中 77 名加入。64.2%の加入率)。
- ・日本語スピーチコンテスト、英語スピーチコンテストの実施(11/12)。
英語(日本人 4 名・留学生 3 名)、日本語(留学生 5 名)がエントリー。神戸商業からも参加(1 名)。
- ・先輩留学生相談ブース前期 14 回 68 名、後期 14 回 85 名の相談を実施。

<兵庫県内に本社がある企業約 900 社(従業員 100 名以上)とのつながりを持つ>

1. 就職結果

- ・就職率 98.6%
- ・卒業者に占める就職者の割合 83.2%

2. 兵庫県内本社所在企業(地元企業)とのネットワーク強化

- ・企業訪問、合同企業説明会・情報交換会への参加、本学への企業来訪にて年間 900 社とのネットワークを結ぶことを目標に取り組み、2016 年度は 645 社接点を持つことができた。

3. 就職活動に必要な知識・スキルを修得する支援行事実施

- ・就職ガイダンス
参加者数の実績:2016 年度 3,166 名(昨年度 2,337 名)
- ・就職対策宿泊セミナー
参加者数の実績:2016 年度 134 名(昨年度 117 名)
- ・面接練習、GD 練習
個人面接練習 88 名(前年度 63 名)、集団面接・GD 練習 91 名(前年度 84 名)
- ・筆記試験対策、模擬試験
SPI 対策講座 134 名(年内講座 40 名、2 月講座 94 名)(前年度 128 名)※実人数
SPI 模試 541 名(マーク式 2 回 477 名、WEB 式 64 名)(前年度 350 名全 4 回実施)
- ・学内企業説明会、業界研究セミナー
企業数 123 社、参加学生数 202 名(昨年度 127 社、130 名)※実人数

<財務構造>

1. 帰属収入に占める人件費割合

- ・帰属収入に対する人件費率は前年度 62.28%に対して、採用対策により、58.47%となった。

2. 人件費以外の経費に関する見直し

- ・研究費に関する「不正行為に対応するガイドライン」について対応すべき新規規則の制定。
- ・2018 年度からの新個人研究費修正案を策定
- ・3 大経費の予算統制等により、無借金体制及び磐石な財務構造を維持。

二	事業の概要
---	-------

(2) 教育研究の概要

①教育研究上の基本となる組織に関する情報(2016.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	コース
商学部	経営学科	リテールマネジメントコース
		経営戦略コース
		会計コース
	マーケティング学科	マーケティングコース
		流通システムコース
経済学部	経済学科	現代経済コース
		地域まちづくりコース
	経済情報学科	経済情報コース
		情報システムコース
人間社会学部	人間社会学科	社会システムコース
		生活文化コース
		心理コース
	観光学科	観光事業コース
		ホテル・ブライダルコース
	人間健康学科	健康マネジメントコース
		スポーツ健康コース

流通科学大学大学院

研究科	課程
流通科学研究科	流通科学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

②教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2016.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	経営学科	28	19	8	1	15	9	12
	マーケティング学科	18	7	7	4	9	9	1
経済学部	経済学科	16	11	5	0	8	7	7
	経済情報学科	11	6	5	0	9	1	4
人間社会学部	人間社会学科	17	10	7	0	4	12	8
	観光学科	11	8	3	0	1	7	9
	人間健康学科	11	5	3	3	6	4	7

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	40	28	12	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼任

③学生に関する情報

<入学に関する基本的な方針>

- ・高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。
- ・高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

<2016年度 入学生数>

流通科学大学

学部	募集定員	入学者数
商学部	450名	402名
経済学部	200名	224名
人間社会学部	250名	267名
学部計	900名	893名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20名	15名
	博士後期課程	5名	2名
大学院計		25名	17名

総合計	925名	910名
-----	------	------

<学部及び収容定員・学生数の状況(2016.5.1現在)>

流通科学大学

学部	収容定員	学生数
商学部	1,650名	1,560名
経済学部	200名	401名
人間社会学部	250名	550名
情報学部	-	7名
総合政策学部	750名	232名
サービス産業学部	750名	446名
学部計	3,600名	3,196名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40名	31名
	博士後期課程	15名	4名
大学院計		55名	35名

< 学生数－内訳 (2016.5.1現在) >

流通科学大学

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
商学部	経営学科 (旧)										2	2			2	2	2		2
	商学科							294	62	356	362	79	69	5	431	84	656	131	787
	経営学科	237	49	286	168	53	221										405	102	507
	マーケティング*	85	31	116	111	37	148										196	68	264
	学部計	322	80	402	279	90	369	294	62	356	364	81	69	5	433	86	1259	301	1560
経済学部	経済	160	11	171	113	12	125										273	23	296
	経済情報	49	4	53	49	3	52										98	7	105
	学部計	209	15	224	162	15	177										371	30	401
人間社会	人間社会	67	25	92	73	21	94										140	46	186
	観光	22	39	61	34	46	80										56	85	141
	人間健康	96	18	114	87	22	109										183	40	223
	学部計	185	82	267	194	89	283										379	171	550
情報	経済情報										5	5			5	5	5		5
	経営情報										2	2			2	2	2		2
	学部計										7	7			7	7	7		7
総合政策	総合政策							86	6	92	126	32	14	2	140	34	212	20	232
	学部計							86	6	92	126	32	14	2	140	34	212	20	232
サービス	観光生活										2	2			2	2	2		2
	医療福祉										2	2	1	1	3	3	2	1	3
	観光							27	31	58	30	7	24	1	54	8	57	55	112
	サービス							132	47	179	108	17	42	2	150	19	240	89	329
	学部計							159	78	237	142	28	67	4	209	32	301	145	446
全学部計		716	177	893	635	194	829	539	146	685	639	148	150	11	789	159	2529	667	3196

流通科学大学大学院

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
流通科学研究科	修士課程	7	8	15	8	8	16										15	16	31
	博士後期課程	1	1	2		1	1		1	1							1	3	4
大学院計		8	9	17	8	9	17		1	1							16	19	35

総合計	724	186	910	643	203	846	539	147	686	639	148	150	11	789	159	2545	686	3231
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	-------------	------------	-------------

< 卒業生数・就職者数・進学者数 >

流通科学大学

学部	学科	2016年度 卒業生数	卒業生数 累計	2016年度 就職者数	2016年度 進学者数
商学部	流通学科	0(0)	5,044	0(0)	0(0)
	経営学科	1(0)	4,265	0(0)	0(0)
	ファイナンス学科	0(0)	1,619	0(0)	0(0)
	サービス産業学科	0(0)	815	0(0)	0(0)
	商学科	272(24)	882	209(6)	5(0)
	計	273(24)	12,625	209(6)	5(0)
総合政策学部	総合政策学科	84(9)	427	71(3)	1(0)
	計	84(9)	427	71(3)	1(0)
情報学部	経済情報学科	0(1)	2,663	0(0)	0(0)
	経営情報学科	0(0)	2,882	0(0)	0(0)
	計	0(1)	5,545	0(0)	0(0)
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	0(0)	1,256	0(0)	0(0)
	医療福祉サービス学科	0(0)	1,136	0(0)	0(0)
	観光学科	40(3)	154	34(1)	0(0)
	サービスマネジメント学科	114(4)	342	106(1)	0(0)
	計	154(7)	2,888	140(2)	0(0)
学部計		511(41)	21,485	420(11)	6(0)

※2016年度卒業生数のうち、()の数字は2016年度9月卒業者数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2016年度 卒業生数	卒業生数 累計	2016年度 就職者数	2016年度 進学者数	2016年度 卒業生数	卒業生数 累計	2016年度 就職者数	2016年度 進学者数
流通科学	12(0)	288	7(0)	2(0)	1(0)	12	0(0)	0(0)

※2016年度卒業生数のうち、()の数字は2016年度9月卒業者数

小 売	<スーパー・百貨店など>			(株)ジャヴァコーポレーション		金 融	<銀行>		
	イオンリテール(株)			(株)スズキ販売西兵庫			(株)但馬銀行		
	イズミヤ(株)	東証1部		(株)スズキ自販近畿			(株)鳥取銀行	東証1部	
	(株)カインズ		卸 売	(株)スミノエ			(株)三井住友銀行		
	(株)関西スーパーマーケット	東証1部		西菱電機(株)	東証2部		(株)みなと銀行	東証1部	
	(株)光洋			ダンロップタイヤ近畿(株)			<信用金庫>		
	(株)山陽百貨店	ジャスダック		(株)ドウシシャ	東証1部		尼崎信用金庫		
	(株)山陽マルナカ		西川リビング(株)		神戸信用金庫				
	(株)セブンーイレブン・ジャパン		(株)日興商会		但陽信用金庫				
	(株)ナフコ	ジャスダック	日本産業(株)		津山信用金庫				
	(株)阪急オアシス		(株)ハーバー研究所	ジャスダック	日新信用金庫				
	(株)ハローズ	東証1部	(株)やよい		播州信用金庫				
	マックスバリュ西日本(株)	東証2部	(株)三機サービス	東証2部	兵庫信用金庫				
	(株)マルハチ		住友不動産販売(株)	東証1部	姫路信用金庫				
	(株)万代		積和不動産関西(株)		<協同組合・信用組合>				
	(株)ライフコーポレーション	東証1部	(株)大京穴吹不動産		岡山市農業協同組合				
	<アパレル>		大和ハウス工業(株)	東証1部	香川県農業協同組合				
	青山商事(株)	東証1部	日本エスリード(株)	東証1部	近畿産業信用組合				
	(株)ジーユー		一建設(株)	ジャスダック	兵庫県信用組合				
	(株)バル	東証1部	富士産業(株)		兵庫六甲農業協同組合				
	(株)ワールドストアパートナーズ		(株)横山基礎工事		<証券>				
	<自動車>		アース製薬(株)	東証1部	岡三証券(株)				
	神戸トヨベツト(株)		(株)伊藤園	東証1部	みずほ証券(株)				
	(株)スズキ自販兵庫		伊東電機(株)		<保険>				
	トヨタエルアンドエフ兵庫(株)		(株)エクセディ	東証1部	第一生命保険(株)		東証1部		
	兵庫ダイハツ販売(株)		大阪富士工業(株)		明治安田生命保険相互会社				
	兵庫トヨタ自動車(株)		(株)加美乃素本舗		<ホテル>				
	兵庫日産自動車(株)		(株)神戸サンソ		(株)神戸ポートピアホテル				
	<その他小売>		(株)神戸製鋼所	東証1部	(株)新神戸ホールディング				
	(株)あさひ	東証1部	(株)指月電機製作所	東証2部	(株)JR西日本ヴィアイン				
	(株)アダストリア		(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス		(株)東急リゾートサービス				
	アールビバン(株)	ジャスダック	製 造	(株)千代田精機			藤田観光(株)	東証1部	
	ウエルシア薬局(株)	その他		(株)鳴尾化学研究所			<旅行>		
	(株)エービーシー・マート	東証1部		ハヤカワ電線工業(株)			名鉄観光サービス(株)		
	オイシックス(株)	マザーズ		日野自動車(株)	その他		サンライズ観光(株)		
	(株)クスリのアオキ	東証2部	フジッコ(株)	東証1部	飲 食		(株)くらコーポレーション	東証1部	
	サントリービバレッジサービス(株)		(株)フジコー	ジャスダック			(株)ゼンショーホールディングス	東証1部	
	上新電機(株)	東証1部	フランスベッド(株)				(株)中納言		
	(株)スギ薬局		フルヤ工業(株)				オリックス・リビング(株)		
	(株)ノジマ	東証1部	文化シヤッター(株)	東証1部	福 祉		パナソニックエイジフリー(株)		
	(株)ヨドバシカメラ		(株)ベースボールマガジン社				アイ・ケイ・ケイ(株)	ジャスダック	
卸 売	(株)アイ・テック	ジャスダック	そ の 他 サ ー ビ ス	丸大食品(株)		東証1部	(株)ワールドインテック	ジャスダック	
	(株)IDOM	東証1部		ユーシーシー 上島珈琲(株)			総合警備保障(株)	東証1部	
	アシックス商事(株)	東証2部		エイチーム(株)	東証1部	日本郵便(株)			
	(株)イエローハット	東証1部		(株)さくらケーシーエス	東証2部	(株)マイナビ			
	伊丹産業(株)		ディップ(株)	東証1部	(株)ホリプロ	東証1部			
	井上定(株)		ANA大阪空港(株)		<国家公務員>				
	(株)ウエシマコーヒーブーズ		(株)大森廻漕店		防衛省自衛隊				
	(株)大塚商会	東証1部	川崎陸送(株)		<県庁・市役所>				
	加藤産業(株)	東証1部	川西倉庫(株)	東証2部	丹波市役所				
	ゴディバジャパン(株)		(株)コープムービング		姫路市役所				
	小西医療器(株)		大和物流(株)		<消防士>				
	(株)コノエ		中国東方航空		姫路市消防局				
	コマツ建機販売(株)		西日本高速道路(株)		<警察官>				
	阪本(株)		一般社団法人日本貨物検査協会		警視庁				
	(株)シマブンコーポレーション		(株)日立物流西日本		兵庫県警察本部				

④教育課程に関する情報

<授業科目及び単位数>

※大学ホームページにて公開(PDFファイルのダウンロード可)

<シラバス(講義概要)>

※大学ホームページにて公開

⑤学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	経営学科(旧)	4年	128	学士(経営学)
	商学科		128	学士(商学)
	経営学科		124	学士(経営学)
	マーケティング学科		124	学士(マーケティング学)
経済学部	経済学科		124	学士(経済学)
	経済情報学科		124	学士(経済情報学)
人間社会学部	人間社会学科		124	学士(人間社会学)
	観光学科		124	学士(観光学)
	人間健康学科		124	学士(人間健康学)
情報学部	経済情報学科		128	学士(経済情報)
	経営情報学科		128	学士(経営情報)
総合政策学部	総合政策学科		128	学士(総合政策)
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科		128	学士(観光・生活文化事業)
	医療福祉サービス学科		128	学士(医療福祉サービス)
	観光学科		128	学士(観光)
	サービスマネジメント学科		128	学士(サービスマネジメント)

流通科学大学大学院

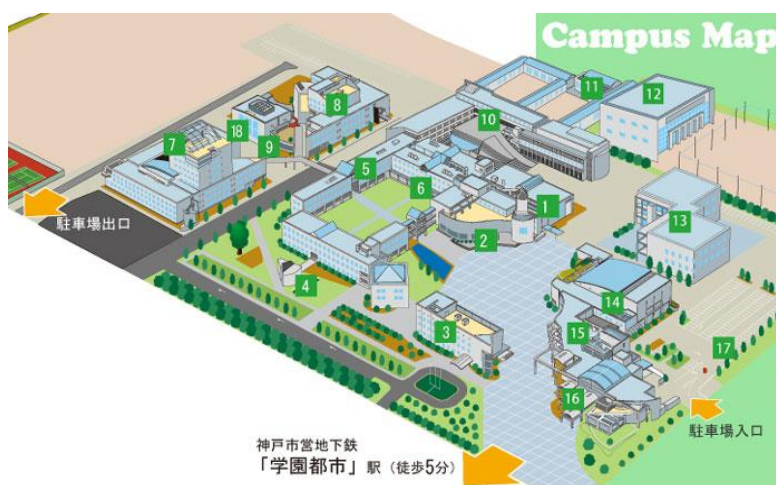
研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	2年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	3年	12	博士(流通科学)

⑥学習環境に関する情報

流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町3-1	神戸市営地下鉄 西神・山手線「学園都市駅」 下車北へ徒歩5分
	経済学部		
	人間社会学部		
	情報学部		
	総合政策学部		
	サービス産業学部		
	流通科学研究科		

<キャンパスの概要>



- | | | |
|--------------------|---------------|-------------------------|
| 1. ベルタワー | 7. 講義棟2、研究棟2 | 13. 講義棟6(事務局・メディアセンター) |
| 2. 附属図書館 | 8. 講義棟3、研究棟3 | 14. RYUKA HALL |
| 3. 本部棟(事務局・みかんホール) | 9. 大学院 | 15. ローソン流科大実習店 |
| 4. 中内功記念館 | 10. 講義棟5、研究棟5 | 16. RYUKA DINING(レストラン) |
| 5. 講義棟1、研究棟1 | 11. クラブハウス | 17. 学生専用駐車場 |
| 6. 中庭・保健室 | 12. アスレチック棟 | 18. ダイエー資料館 |



ベルタワー(1)



中内功記念館(4)



中庭・保健室(6)



アスレチック棟(12)



講義棟6(13)



RYUKA DINING(レストラン)(16)

<運動施設の概要>

・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学20周年記念事業の一環として建設し、2006年4月に竣工。



・流通科学大学野球場

両翼100メートル、中堅122メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

人工芝グラウンドと西グラウンドの2面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



<課外活動の状況>

課外活動の目的: 課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体: 4の独立団体と33の体育会系クラブと15の文化会系クラブ、また19の体育会系、3の文化会系サークルもあり、在学生全体の47.8%(2016年度実績)が何らかの課外活動団体に所属している。

⑦学生納付金に関する情報

流通科学大学

項目			入学時	後期(9月)	納付額
初年度のみ	入学金		300,000円	—	300,000円
	受託徴収金	教育後援会入会金	10,000円	—	10,000円
		学生教育研究災害傷害保険料	4,140円	—	4,140円
学費	授業料		385,000円	385,000円	770,000円
	施設設備維持拡充費		50,000円	50,000円	100,000円
	教育充実費		50,000円	50,000円	100,000円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円	—	42,000円
合計			841,140円	485,000円	1,326,140円

2年目以降の納付金	前期(4月)	後期(9月)	納付額
	527,000円	485,000円	1,012,000円

<入学時までに必要な費用>

一次手続費用(入学金)	二次手続費用(前期授業料等)
300,000円	541,140円

入試方式によっては、合格後の入学手続をする場合、一括(入学金、前期納付金)での納付となる。

2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,230円(3年間分)、3年次編入の場合は2,170円(2年間分)となる。

- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。
- 各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと扱う。
- いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

流通科学大学大学院

項目			納付額		納付時期
			修士課程	博士後期課程	
初年度のみ	入学金		300,000円	300,000円	入学 手続時
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,170円	3,230円	
	初年度のみ 合計		302,170円	303,230円	
前期	前期授業料		320,000円	320,000円	
	前期教育充実費		50,000円	50,000円	
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円	
	前期納付金 合計		400,000円	400,000円	
入学時納付金 合計			702,170円	703,230円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円	9月1日 ～ 10月31日
	後期教育充実費		50,000円	50,000円	
後期納付金 合計			370,000円	370,000円	
納付金合計			1,072,170円	1,073,230円	

- 本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

⑧学生支援と奨学金に関する情報

<学生支援組織>

学生支援	組織名	機能
就職支援	学生部キャリア開発課	・就職ガイダンス ・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・OB・OG就職相談会 ・就職対策宿泊セミナー ・4年生による就職活動相談会 ・就職父母懇談会 ・キャリアリーダー・チューター制度 ・業界研究セミナー ・SPI対策講座、SPI対策模擬試験
進学支援	入試部 教務部	・大学院入試制度の紹介等
履修支援	教務部	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時)、低単位取得者面談 ・学修相談会(年5回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生部学生課 学生部留学生支援課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生部学生課 学生部留学生支援課	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介 ・学費延納手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等	学生部学生課(保健室)	・学校医による定期的な健康相談(内科医、精神科医) ・健康相談 ・臨床心理士による心の相談やスキルトレーニング等 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等 ・健康教育(喫煙、食生活、アルコール、ドラッグ、日常生活リズムなど) ・保険加入、請求手続き ・健康診断

＜奨学金＞

『一般学生対象の奨学金制度』

「成績優秀者奨学金」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者以外の成績優秀な学部生に対し支給する。

(資格)

- ・各学年各学部の前年度取得科目の素点平均による成績上位者
- ・2～4年の各学年それぞれ7名(商学部3名、総合政策学部2名、サービス産業学部(人間社会学部)2名)

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間

(金額) 30万円(年額)

(2016年度実績) 商学部9名、総合政策学部6名、サービス産業学部4名、人間社会学部2名

(備考) 留学生以外の学部生に限る

「下宿サポート奨学金」

(主旨)

入学時に下宿を予定している者を対象に30万円を支給。

(資格)

入学後下宿予定の者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 30万円(授業料免除)

(2016年度実績) 136名

(備考) 全入試方式対象

「S方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試S方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・S方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 50万円(年額)

(2016年度実績) 8名 ※2014年度入試より制度廃止のため、4年生の実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「A方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試A方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的として支給する。

(資格)

- ・A方式成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 1年次 50万円(年額)

(2016年度実績) 6名 ※2015年度入試より制度廃止のため、3年生の実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「C 方式入試奨学金」

(主旨)

一般入試 C 方式入学試験で優秀な学生に対しそれを称え、更なる向上を促すことを目的とし支給する。

(資格)

- ・C 方式成績上位 30 名(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 1 年次 30 万円(年額)

(2016 年度実績) 2 名 ※2014 年度入試より制度廃止のため、4 年生の実績

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「RYUKA 特別奨学金(授業料全額減免)」

(主旨)

センター試験利用入試にて合格し、一定の条件を満たした者全員に授業料全額を 4 年間継続免除する。

(資格)

- ・大学入試センター試験の一定の得点率をクリアした者(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 授業料全額

(2016 年度実績) 44 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「RYUKA 特別奨学金(授業料半額減免)」

(主旨)

センター試験利用入試にて合格し、一定の条件を満たした者全員に授業料半額を 4 年間継続免除する。

(資格)

- ・大学入試センター試験の一定の得点率をクリアした者(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 授業料半額

(2016 年度実績) 19 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「兄弟姉妹入学奨学金」

(主旨)

本学に兄弟姉妹で同時に学ぶ学生に対し支給する。

(資格)

- ・新入生であること
- ・兄弟姉妹が流通科学大学及び大学院の在学者であること
- ・兄弟姉妹が申請時に在学をしている者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 10 万円

(2016 年度実績) 13 名

(備考) 兄弟姉妹が休学の者は除く

「日本学生支援機構」

(主旨)

学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により修学が著しく困難である者。

(選考)

・第一種奨学金

特に優れた学生及び生徒で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与する。

・第二種奨学金

第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与する。

(支給方法) 貸与

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

・第一種奨学金

自宅通学者 3.0 万円、5.4 万円の中から選択

自宅外通学者 3.0 万円、6.4 万円 の中から選択

・第二種奨学金 3 万、5 万、8 万、10 万、12 万の中から選択

(2016 年度実績) 第一種 352 名、第二種 961 名

(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝有利子(上限 3%)

「(公財)瀧川奨学財団」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)・兵庫県出身者の者、または家族が県内に住んでいる者。

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2.5 万円(月額)

(2016 年度実績) 4 名

「(公財)山村育英会奨学金」

(主旨)

大学学部に在学する志操堅固、学力優秀な者(2 年生以上)

(支給方法) 給付

(支給期間) 3 年間

(金額) 3 万円(月額)

(2016 年度実績) 3 名

「その他の奨学金」

神戸市大学奨学金[給付:月額 1 万 5 千円]

三木市教育委員会奨学金[給付:月額 9 千円]

交通遺児育英会奨学金[貸与:月額 4 万円または 5 万円または 6 万円]

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生及び社会人入試、帰国生徒入試で入学した者に対し支給する。

(資格)

- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 5.3 万円(月額)

(2016 年度実績) 17 名

(備考) 規程:各学年 10 名以内

「中内学園大学院特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、研究心が旺盛で、かつ経済的理由により修学が困難と認められる者に対し支給する。

(資格)

- ・大学院修士課程在学者及び大学院博士後期課程在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 修士課程 7.1 万円(月額) 博士後期課程 8 万円(月額)

(2016 年度実績) 修士 14 名 博士 1 名

(備考) 規程:修士 各学年 8 名以内 博士 各学年 2 名以内

「私費外国人留学生授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 授業料の 50%もしくは 30%

(2016 年度実績) 授業料 50%減免 学部生 15 名、大学院生 9 名

授業料 30%減免 学部生 145 名 大学院生 0 名

(備考) 財源:流通科学大学

「岡田スカラシップ」

(主旨)

外国人留学生入学試験のうちベトナム会場で受験し、優秀な成績を収め入学するベトナム人留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

外国人留学生入学試験のうちベトナム会場で受験し、優秀な成績を収めた者(各年度に入学する学生のうち 3 名以内)

(支給方法) 給付

(支給期間) 2 年間

(金額) 1 年次 160 万円(年額)、2 年次 100 万円(年額)

(2016 年度実績) 5 名

(備考) 規程:各学年 3 名以内(1～2 年生のみ)、財源:流通科学大学

「Welcome to KOBE 奨励金」

(主旨)

流科大がある「神戸」で学ぶ留学生を支援する奨励金として支給

(資格)

外国人留学生入学試験で入学した者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 30 万円

(2016 年度実績) 122 名

(備考) 財源:流通科学大学

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 学部生 4.8 万円(月額) 大学院生 6.5 万円(月額)

(2016 年度実績) 学部生 6 名、 大学院生 1 名

(備考) 財源:文部科学省

「兵庫県私費留学生奨学金」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)

- ・兵庫県内の大学に在学する私費外国人留学生。

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間 ※毎年申請

(金額) 3 万円(月額)

(2016 年度実績) 学部生 18 名、大学院生 2 名

(備考) 財源:兵庫県国際交流協会

「ロータリー米山奨学金」

(主旨)

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

(資格)

指定校となっている大学院修士課程 1、2 年を対象とする。

(支給方法) 給付

(支給期間) 最長 2 年間

(金額) 月額 14 万円

(2016 年度実績) 修士 2 名

(備考) 財源:日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金

「神戸菅原奨学金」

(主旨)

神戸市は1985年に、留学生奨学金制度を創設しました。更に、1988年に篤志家の(故)菅原一郎氏から10億円の寄附を受け、1989年に神戸市留学生支援等基金条例を制定し、以降、毎年市内の大学で学ぶ私費留学生の中から奨学生を選考して、1人月額8万円の奨学金を1年間支給しています。

(資格)

外国人私費留学生で、「留学」ビザを有する者

学部または大学院に正規の学生として在学している者(ただし、学部生については3年生以上とする。留年生は対象外)

神戸市内などで行われる国際交流行事に積極的に参加できる者

2017年4月から2018年3月の期間に、他の奨学金を受給しない者

面接予定日に神戸国際協力交流センター(三宮)まで行ける者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間(継続申請の可能性あり)

(金額) 月額8万円

(2016年度実績) 学部1名、修士1名

(備考) 財源:神戸市

なお、『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』のうち、「平和中島財団奨学金」については、2016年度、対象となる者がいなかった。

二	事業の概要
---	-------

(3) 管理運営の概要

【ガバナンス】

- 「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。
- 「常任理事会」………理事会の決定した方針に基づき、学園運営全般に係る具体的施策の策定に関する事項、その他学園の運営に関する重要事項を決定する。
- 「評議員会」……………予算、事業計画、寄附行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問。
- 「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成の基準及び全学の調整に関する学長の諮問、本学の教員の採用及び昇格の全学の調整に関する学長の諮問、本学の教育研究に係る自己点検・評価及び第三者評価に関する学長の諮問、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。
- 「教授会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学生の卒業、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成に関する学長の諮問、教員の採用及び昇格に関する学長の諮問、その他本学の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。
- 「研究科委員会」…学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学位論文の審査及び課程修了認定、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成、大学院担当教員の選考、その他大学院研究科の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

2016 年度の開催回数について

理事会	5 回	学長会議	11 回
常任理事会	5 回	教授会	49 回(商学部 17 回、経済学部 16 回、人間社会学部 16 回)
評議員会	5 回	研究科委員会	8 回

【自己点検・評価】

<自己点検・評価の目標>

自己点検・評価は本学における各種の取り組みの検証・改善を目的とする。
このために自己点検・評価の手法と評価の指標や目標を明確にし、自己点検・評価を Plan-Do-Check-Act のサイクルで検証し、改善に結びつける体制を確立し、さらには第三者による評価に付す仕組みを整えることを目標とする。

<自己点検・評価の経過>

・教育研究等活動報告

各教員の教育研究活動に関しては、1993 年度に「教育研究等活動報告(1992 年度)」が出版され、以降毎年度出版している。これには各教員の研究活動、教育活動、その他の活動が記録されており、特に発行当初から、「授業で工夫・改善した事柄」を記述している点が特色となっている。

2005 年度の「教育研究等活動報告」(2006 年度発行)からは、各教員が恒常的に自己点検・評価をすることを目指し、「今年度の(研究、教育、その他の活動に関する)目標」の項目が付け加えられた。

・学外者による評価・アドバイス

自己点検・評価と関連し、2004 年度からアドバイザリー・コミッティ委員制度を導入した。

これは、実業界のトップから実業界・社会からの要請を踏まえたご意見とアドバイスを受けて、次の項目の協力を得ようとするものである。

1. 学園の経営に関するアドバイス
2. 企業から期待する教育に関するアドバイス
3. 就職とキャリア教育に関する支援
4. 入試に関するアドバイス
5. 産学連携

<現在の自己点検・評価の体制>

・教育審議会

本学の教育研究活動などの自己点検・評価に関する事項を審議する機関を「教育審議会」という。

教育審議会は、副学長のほか、各学部長、大学事務局長、教学部長などから構成されており、具体的な対策が実行しやすい組織になっている。また、全学的な最高意思決定機関である学長会議でも、本学の教育研究に係る自己点検・評価および第三者評価に関する学長の諮問事項を審議する。

自己点検・評価の対象は、本学のあらゆる取り組みにわたり、担当者、担当部署、担当委員会などの日常的な取り組み・日常的な自己点検・評価は、それぞれの委員会報告などでなされている。

これらの総括のため、「自己点検・評価を恒常的に行うための制度システム」が必要であり、本学では自己点検・評価の中核機関として「教育審議会」を位置付けている。

・教育審議会規則

※大学ホームページにて公開 (PDF ファイルのダウンロード可)

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

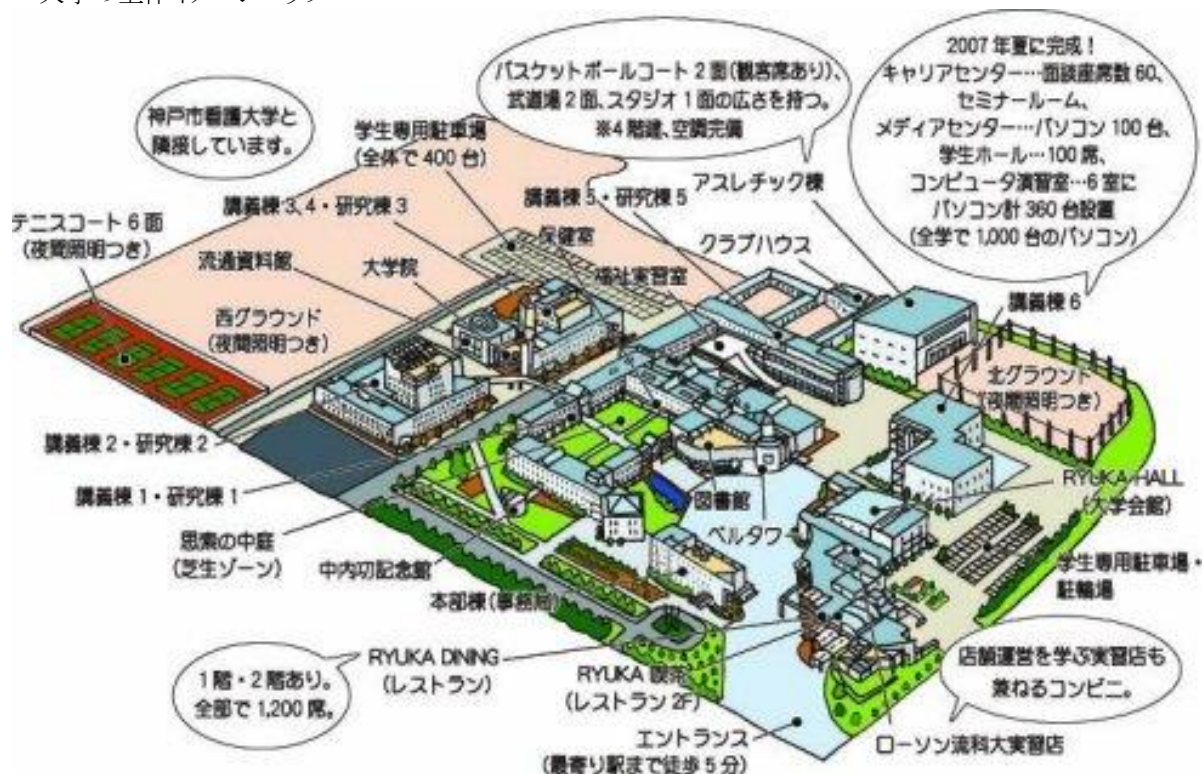
・教育研究活動の状況

※大学ホームページにて公開

【施設設備整備】

<概要>

大学の全体イメージマップ



<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3

延床面積 2391.68 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成

4. 講義棟 4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成

5. 講義棟 5

延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成

6. 講義棟 6

延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成

8. 研究棟 1

延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

9. 研究棟 2

延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成

10. 研究棟 3

延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成

11. 研究棟 5

延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成

蔵書数 186,972 冊、雑誌 2,235 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成

14. 中内功記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2 階建の内の 2 階 2011 年 9 月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)

18. 第 1 クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)

19. 第 2 クラブハウス

延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成

20. 第 3 クラブハウス

延床面積 441.88 平方メートル 2 階建て 2012 年 2 月完成

21. 駐車場台数

約 500 台(学生用 400 台、教職員用 100 台)

22. 駐輪場台数

約 350 台

23. グラウンド

西側グラウンド・北側グラウンドの 2 面

24. 流通科学大学野球場

敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成

(更衣室等 171.95 平方メートル)

25. 東京オフィス

賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2009 年 4 月撮影)



二	事業の概要
---	-------

(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入（1994 年度）
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有（2001 年度）
- ・「全学的一斉授業公開（オープンクラスウィーク）制度」導入（2003 年度）
- ・FD・SD 研修会の継続実施
- ・FD・SD の推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、講演会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学習相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2016 年度 本学から派遣人数：0 名・本学受け入れ人数：25 名（中国：11 名 台湾：12 名 韓国：2 名）
- ・認定留学制度
2016 年度 本学から派遣人数：3 名（アメリカ 2 名・ニュージーランド 1 名）

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は 1 ヶ月程度。研修実施国（地域）はアメリカ
日程：2016 年 8 月 23 日～9 月 13 日
参加状況：11 名

<海外市場研究>

- ・本学の学生を対象に海外の流通事情調査を実施。調査期間は 1 週間。視察対象を凝縮し合理的かつ効率的に学べるプログラム。研修実施国（地域）は韓国
日程：2016 年 8 月 3 日～9 日
参加状況：7 名

<海外流通政策・都市政策研修（オフキャンパス研修）>

本研修では、開発途上国における開発課題ならびに日本や先進国がどのような開発援助を行ってきたについて学べる学部別海外研修プログラム。研修実施国（地域）はベトナム
日程：2016 年 9 月 7 日～14 日
参加状況：11 名

<異文化理解>

- ・1 年次夏季を利用して、現地での交流体験を実施。期間は 3 日程度。研修実施国（地域）は香港。
日程：2016 年 9 月 6 日～8 日
参加状況：36 名

<海外の提携校>

- ・台湾…国立高雄第一科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国…東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国…南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大学外国部、四川外国語大学、常熟理工学院、常州観光ビジネス高等職業技術学校
- ・ベトナム…貿易大学、ホーチミン師範大学、ドンズー日本語学校
- ・カンボジア…タヤマビジネススクール
- ・タイ…カセサート大学、タマサート大学、ブラパー大学
- ・ニュージーランド…ワイカト大学

- ・アメリカ…ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド…バーサ大学
- ・フランス…ESC ブルターニュブレスト

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向って進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各自の目標を達成するための各種支援をするために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携したアクティブラーニング活動の概要

<活動実績（2016年度）>

- ・神戸研究学園都市企業杯「2016年度学園都市大学対抗ゼミ企画 フジッコ杯」
概要：フジッコ株式会社の協力のもと「健康素材『豆』の利用拡大の企画を考えよう！」をメインテーマに実施。本学からは 21 チームが参加。市場調査やアンケート調査に基づいたユニークで知恵を絞った提案が行われた。
連携先：フジッコ株式会社
日程：2016 年 9 月～12 月
参加状況：3 大学（本学・神戸芸術工科大学・兵庫県立大学）、29 チーム、参加者総数 154 名
- ・フジッコ商品企画
概要：フジッコ株式会社の既存商品「フルーツセラピー」「ベスタデリ」に関する新商品、パッケージデザイン、売り方等の提案を募集。幅広い世代のお客様に支持されるブランドに育てるべく、学生の目線からの提案を行った。
連携先：フジッコ株式会社
日程：2016 年 4 月～7 月
参加状況：19 チーム、参加者総数 97 名
- ・大学生が企画・案内する「ひょうごのまち歩き」
概要：ツーリズムひょうご学官連携協議会企画として 4 大学（本学・神戸海星女子学院大学・神戸国際大学・神戸山手大学）が独自のまち歩き 15 コース（本学は 9 コース）を企画・設定し学生が現地観光ガイドを務めた。
連携先：兵庫県観光振興課
日程：2016 年 10 月～12 月
参加状況：9 チーム（4 ゼミ）参加者総数 46 名
- ・神戸農水産物商品化プレゼンテーション大会「KOBE にさんがろく PROJECT」
概要：神戸産の農水産物を利用した商品化に取り組むプロジェクト。本学からは 4 ゼミ 7 チームが参加。チームしえんべえ（後藤ゼミ）が炭酸せんべいの製造過程で出てしまう割れた切れ端を利用した商品「ARIMA CHOCO CRUNCH～もったいないを美味しく～」を提案。準グランプリを受賞した。
連携先：神戸市農水産課
日程：2016 年 6 月～2017 年 3 月
参加状況：7 チーム（4 ゼミ）参加者総数 32 名
- ・ひがしなだスイーツめぐり
概要：東灘区を走る「スイーツめぐりバス」と灘区を中心とする「酒蔵探訪バス」の 2 つのルートの車内で顧客調査を実施。学生が利用者にアンケート用紙を配布し記入いただく形で、イベントの感想や今後の改善点などについて調査を行った。
連携先：みなと観光バス株式会社
日程：2016 年 10 月～11 月
参加状況：21 名（濱田ゼミ・池田ゼミ）
- ・稲美町活性化プロジェクト
概要：稲美町が持つ魅力ある資源を活用し、まちの活性化プランの提案及びイベントを実施。酒蔵「井澤本家」との連携による「蔵開き」運営や JA 兵庫南との共催による「農業体感ツアー」の企画運営を行った。
連携先：稲美町
日程：2016 年 4 月～2017 年 3 月
参加状況：14 名（小久保ゼミ）

・M ラボ「課題解決ラボ」

概要：神戸新聞社と兵庫県下中小企業の主催による企業と大学生のマッチングを目指す中核事業で、企業が抱える課題を大学ゼミと企業の若手社員や担当者が協力して調査研究するプロジェクト。本学からは羽藤ゼミが参加。マッチングが成立した富永貿易株式会社の担当者とともに「アーマッドティーの販売拡大」をテーマに課題解決提案を行った。

連携先：神戸新聞社、兵庫県中小企業団体中央会

日程：2016 年 5 月～10 月

参加状況：11 名（羽藤ゼミ）

・奈良県吉野町に関するプロジェクト

①概要：千本桜の観光シーズン以外の需要喚起のための観光商品開発。学生自らが店内装飾、商品提案、価格設定、当日までのプロモーションを行い、「吉野カフェ」「美林カフェ」2 タイプのカフェを 2 日間限定で運営した。

日程：2016 年 4 月～7 月

参加状況：18 名（柏木ゼミ・栗原ゼミ）

②概要：吉野町活性化を目的とした「吉野に笑顔を スマイルプロジェクト」にて祭りの企画・運営や商品開発、物販を実施した。

日程：2016 年 9 月～12 月

参加状況：28 名（森藤ゼミ）

連携先：吉野ビクターズビューロー

・社会人基礎力育成グランプリ

概要：奈良県吉野町の活性化を目的としたプロジェクトでの活動をテーマに発表を行い、近畿地区大会で準優秀賞を受賞した。

連携先：社会人基礎力協議会

日程：2016 年 12 月

参加状況：9 名（柏木ゼミ）

・JAF 企画

概要：「U25 世代への JAF 認知度向上のためにいまできること」をテーマに西尾教授が担当する「自己発見とキャリア開発 K01 クラス」が 6 チームに分かれて施策を検討。WEB 広告や SNS を利用した PR 方法を提案した F チームの「JAF FOR U25」企画が 1 位を獲得。

連携先：JAF（一般社団法人 日本自動車連盟）

日程：2016 年 10 月～2017 年 1 月

参加状況：35 名（自己発見とキャリア開発 K01 クラス）

④地域交流・連携 活動一覧（2016 年度）

・トライやる・ウィーク（中学生職業体験企画）

概要：近隣の中学生に 5 日間（9:00～15:30）、流通科学大学内の様々な職業を体験していただいた。

日程：前期 5 月 30 日（月）～6 月 3 日（金）、後期 11 月 7 日（月）～11 日（金）

参加中学校：前期 西神中学校、後期 伊川谷中学校・平野中学校

・学園夏祭り

概要：学園西町連合自治会の『学園こども夏まつり』が 2016 年 8 月 6 日（土）、学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の文化会・学園祭実行委員会が企画・運営に携わった。ステージでは吹奏楽団、和太鼓部が出演。出展ブースでは現代視覚文化研究会による塗り絵、児童ボランティア部 ALL-IN によるバルーンアート作成デモンストレーションおよびプレゼント・スーパーボールすくい、社会イベント隊ランニングボランティアによるストラックアウト・輪投げ、電脳部による自作 PC ゲーム体験など、それぞれの文化会系クラブが体験型イベントを中心に出展。

連携先：学園西町連合自治会、UNITY 加盟大学（神戸芸術工科大学）

日程：2016 年 8 月 6 日（土）

三	財務の概要
---	-------

〈概況〉

2016年度の事業活動収支は経費面では必要経費の選択と集中に努め、計画範囲内で実行しました。投資面では国際交流施設の建設に係る第2号基本金の組入れや既存施設の活性化工事を実施しました。その結果、当年度収支差額は約16億円の支出超過となっております。

しかしながら、純資産は342億3千万円、うち金融資産は約150億円で、引き続き盤石な財務構造を維持しています。

※百万円未満は四捨五入

〈事業活動収支計算書〉

※2015年度より会計基準変更

(単位：百万円)

教育活動収支	収入の部	科 目	2016 年度	2015 年度
		学生生徒等納付金	3, 249	3, 226
		手数料	51	49
		寄付金	112	30
		経常費等補助金	292	283
		付随事業収入	53	55
		雑収入	65	62
		教育活動収入計	3, 822	3, 705
	支出の部	人件費	2, 260	2, 345
		教育研究経費	1, 664	1, 540
		管理経費	426	410
教育活動支出計		4, 350	4, 295	
教育活動収支差額		△528	△590	
教育活動外収支	収入の部	科 目	2016 年度	2015 年度
		受取利息・配当金	40	60
		教育活動外収入計	40	60
	教育活動外収支差額		40	60
経常収支差額		△488	△530	
特別収支		科 目	2016 年度	2015 年度
		特別収入計	3	0
		特別支出計	16	6
	特別収支差額		△13	△6
基本金組入前当年度収支差額		△501	△536	
基本金組入額合計		△1, 095	△239	
当年度収支差額		△1, 596	△775	
前年度繰越収支差額		1, 479	1, 704	
基本金取崩額		51	551	
翌年度繰越収支差額		△66	1, 479	

(参考)

事業活動収支計	3,865	3,765
事業活動支出計	4,366	4,301

〈資金収支計算書〉

(単位：百万円)

収入の部	2016 年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
学生生徒等納付金収入	3,249	3,226	3,226	3,442
手数料収入	51	49	49	46
寄付金収入	107	27	51	70
補助金収入	292	283	227	335
資産売却収入	3	0	0	0
付随事業・収益事業収入	53	55	62	68
資産運用収入	40	60	119	134
雑収入	67	62	30	28
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	690	658	641	590
その他の収入	5,122	7,939	4,233	2,454
資金収入調整勘定	△663	△646	△604	△607
前年度繰越支払資金	9,187	6,970	5,032	5,711
収入の部合計	18,199	18,682	13,066	12,271
支出の部	2016 年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
人件費支出	2,239	2,348	2,348	2,279
教育研究経費支出	1,185	1,075	1,188	1,084
管理経費支出	382	365	401	362
借入金等返済支出	0	0	0	1
施設関係支出	633	122	36	52
設備関係支出	73	47	198	105
資産運用支出	3,980	4,615	1,072	2,265
その他の支出	1,725	1,216	1,050	1,173
資金支出調整勘定	△212	△292	△197	△82
次年度繰越支払資金	8,195	9,187	6,970	5,032
支出の部合計	18,198	18,682	13,066	12,271

〈貸借対照表（経年比較）〉

（単位：百万円）

資 産 の 部				
科 目	2016 年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
固 定 資 産	28,414	27,981	30,086	32,518
有形固定資産	20,898	20,695	21,010	21,425
土地	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	8,663	8,810	9,137	9,548
教育研究用機器備品	195	184	193	193
図書	902	906	906	905
管理用機器備品	49	45	48	53
建設仮勘定	362	24	0	0
特定資産	5,580	5,064	5,388	5,552
その他の固定資産	1,936	2,222	3,687	5,541
流 動 資 産	8,210	9,205	6,997	5,084
現金預金	8,195	9,187	6,970	5,032
その他	15	18	27	52
資産の部合計	36,624	37,186	37,082	37,602
負 債 の 部				
固 定 負 債	968	941	945	939
退職給与引当金	961	940	943	936
その他	7	1	2	3
流 動 負 債	1,423	1,511	867	714
前受金	690	658	641	589
その他	733	853	226	125
負債の部合計	2,391	2,452	1,812	1,653
純 資 産 の 部				
基 本 金	34,298	33,255	33,566	33,601
第1号基本金	31,463	30,863	30,853	30,717
第2号基本金	1,512	1,018	791	966
第3号基本金	1,017	1,016	1,564	1,560
第4号基本金	307	358	358	358
繰越収支差額	△66	1,479	1,705	2,348
翌年度繰越収支差額	△66	1,479	1,705	2,348
純資産の部合計	34,234	34,734	35,270	35,949
負債の部・純資産の部合計	36,624	37,186	37,083	37,602

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	（算式）	2016 年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
流動比率	流動資産/流動負債	577.1%	609.0%	807.0%	711.5%
人件費比率	人件費/経常収入	58.5%	62.3%	62.5%	57.2%
人件費依存率	人件費/学納金	69.6%	72.7%	73.0%	68.6%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	43.1%	40.9%	43.3%	37.3%
管理経費比率	管理経費/経常収入	11.0%	10.9%	12.0%	10.1%
経常支出比率	経常支出/経常収入	112.6%	114.3%	118.0%	104.7%